

沖養部新聞

第2号 2013年12月 沖教組 養護教員

中央教研学校保健分科会開催！

2013年度 中央教研「学校保健分科会」が、11月9日（土）北谷町立桑江中学校で行われました。今年は、35人が集まり、テーマ「子どもの側に立った健康教育をめざして」を基に開催されました。中頭地区の先生方、司会、会場設営、記録、接待諸々、会の運営の協力ありがとうございました。また、有志の先生から、おいしい差し入れも頂きました。ありがとうございました。会は、嘉陽あゆみ部長の挨拶に始まりました。

各支部からの実践発表（発表順に記載）

＜国頭支部＞子どもの自立心を育むための手だて
～保健室経営を充実させるための工夫～



速やかな情報交換につながったり、国頭村内の引き継ぎ資料を作成することで執務内容の共通確認などができた。

＜中頭地区＞生徒が関心を持つような掲示物の工夫
生活習慣病の予防・肥満・ペットボトル症候群の予防指導に活用するため、具体物を掲示・保管しやすいような細かい工夫がなされ、生徒からも好評であったとのこと。



＜那覇支部＞発達段階に応じた薬物乱用防止教育



主に小学校の身体計測後の時間を活用したり、ショートの時間で行った保健指導の内容をパワーポイントで紹介していただいた。

＜島尻支部＞視覚に訴える生活習慣病の予防

～カルシウム編～

南城市の食育推進事業を受けて3年目、写真を活用し、パワーポイント資料を作成し、いろいろな食材のカルシウム量を比較。この取り組みを等して栄養教諭とも連携を深めることが出来た。

＜宮古支部＞歯科保健の向上を目指していつでもどこでも実践できる保健指導の工夫～歯と口の健康月間におけるとりくみから～

4校の学校の特色あるとりくみの報告。各学校、パネルシアターやDVDを用いたり、在籍に応じて工夫を凝らしている。

＜八重山支部＞携帯電話・スマホ使用に関する保健指導の実践

昨年度より継続しての研究。八重山の小中学生の携帯所持率を調べ、心と体の健康について保健指



導を行った。人間関係が複雑にならない小学校時代に指導し、正しく、上手に使うてくれるような効果に期待している。

～分科会後半は、各支部の保健室経営の中から見えてくる様々な問題について情報・意見の交換を行いました。

フッ素について

・那覇や宮古地区ですでに導入されている地域有り。健康21によりラジオCMのキャッチフレーズにも（フッ素）が含まれてきている。

就学時健診について

・本来行政が主体となって行うべき健診が、学校で行われていて、負担が大きいという意見があった。



予防接種について

・八重山地区で学校でインフルエンザの予防接種を行いたいとの申し出があり、管理者・教育委員会と共に対応した。

その他

- ・島尻において中2を対象に生活習慣病予防対策のため、学校でローレル160以上の生徒に採血をしようという動きがあった。
- ・宿泊を伴う行事の引率で「養護教諭」ではなく、「医療の知識がある者」に変更できないか。
- ・脊柱側湾症についての問診を取るようにと、全児童の成長曲線を調査し、教育委員会に公表するようにと医師会を通した働きかけがある。
- ・八重山の給食会計業務についても教育委員会が親身になって動き始めてくれている。

総括

・支部を超えて連携を図ることの大切さ、養護教諭同士で問題・悩みを共有し、互いにサポートしあう雰囲気作りが大切。又、ベテランから中堅へ中堅から若い養護教諭へ学校保健の変遷を伝えていかなければならないと強く感じる。常に「自分が守るべきなのは何だろう？」という立場で物事を考えていこう。

各支部の問題点が出され、有意義な情報交換ができました。今後も子どもの側に立って、子ども達の健康と笑顔を第一に考え研究を重ねていきたいと思えます。各支部代表で発表を引き受けて下さった先生方へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

組合未加入の方！

ぜひ、今年度、組合に加入しませんか。

労使交渉ができるのは、組合の特権！

今後、教育公務員も、給与の面、労働条件の面が厳しくなります。多くの加入で組合力を強くし、働く場をよりよいものにしていかなければなりません。加入の意志が固まった方！各支部へ連絡を！今年度は、新たに13人が加入！あなたも今すぐお電話を！